

和歌山-三重-静岡-沿岸市民は**地球号地震**に最大警戒を!!! 2010/10/12,13

悪名高い地球号(2)(1)が最危険な大地震域=南海トラフで**注水地震(4)**で**引き金**になりかねない**海底掘削**に向かうの(3)報(2018/10/10)。地域行政(5)に危険警告したのだが、

(1) **南海トラフでの 第二の 3.11 事件発生を警戒せよ:**

悪名高い“ちきゅう号”の深海掘削開始と米国戦争勢力によるネバダ地下核実験の公表は 3.11 事件発生前夜とそっくり! 2018/10/11(木) 午後 2:09

https://blogs.yahoo.co.jp/hisa_yamamot/37554275.html

(2) **悪魔の掘削船地球がまたまた南海沖で掘削開始!?:俺「また墓穴掘り回しかいな!?!」**

<https://quasimoto2.exblog.jp/238798741/>

(3) **南海トラフ地震予測に海底探査船 10月10日 12時49分**

<https://www3.nhk.or.jp/kansai-news/20181010/0008507.html>

(4) **注水地震 核融合エネルギー値の仮定と必要水量(mol 換算)<非常に粗推定>:**

<http://www.777true.net/the-convergence-to-genuine-J48-Water-Injection-Earthquake-the-Mechanism.pdf>

過去に地震が無い地域で地震が起きた、既成地震理論=地下プレートエネルギー蓄積が無い地域で地震が起きるには地下での爆発エネルギーが必要、化学爆発では難しい、何と小規模核融合?! その準定量基礎を以下で提供、**水がわずかに数十 g でもM2 の地震が可能!!**。もし地下歪エネ蓄積域だとそれを引き金にM4~7地震発生の可能性が起きる。

1: 高電子濃度の金属表面は静電反発力減少に作用、それが常温核融合反応に、

2: 他方で超高压下では全物質は金属化する。

かくて核心は震源高压岩石亀裂面が核融合触媒空間になる事の証明。

(5) 国-地域地震行政:

これも日本が**悪魔追従の逆さま国家**を証明!!。東大地震研究所に代表される日本の公研究機関→公的地震対策機関は地震原因を(a)**プレート移動説**以外は一切認めません。

(b)注水地震(触媒空間小規模核融合爆発)、(c)電荷密度波震源爆縮<電磁地震兵器 HAARP>>、

(d)**地震電磁気早期予知法**は完璧に、完璧に無視姿勢です。**国民救済意思がない逆さま国家性**を証明しています。しかし**被害現場地域行政**としてはそうも行かない要素があるのだが、関係者は既に地球号の**海底ボーリング=注水地震**を認識、それで国-地方行政は今回の深度掘削を許可してゐる。

(c)電磁地震兵器 HAARP の原理.

http://www.777true.net/the-convergence-to-genuine_J54-HAARP-Plasma-Oscillation-Mechanism.pdf

(d)地震電磁気早期予知法の原理.

<http://www.777true.net/Short-Term-Earthquake-Prediction-by-Phenomena-of-Electro-Seismology.pdf>

補記 1 : 過去にも同地域で海底掘削の経験があり、その時は大事に至らずだったようだが、今回は(1)警告の **3.11 事件発生前夜とそっくり!** に徹底中止せねばなりません、今回掘削域の詳細情報がありません。

周期発生説にもとづく次南海トラフ地震時期の簡易統計推計<10/13 追加>

http://www.777true.net/the-convergence-to-genuine_J108-EQ-the-FINAL-DECISION.pdf

補記 2 : 東京五輪 2020 は土建景気高揚とスポーツマスコミ連動での国民衆愚政策ですが、地震復興事業も国民蓄財を吐き出させる秘密政策でしょう。黒田日銀が必死にインフレ政策を打つのも国民大資産圧縮と Q E 資金での主に株市場想景気高揚宣伝策で、一つのねじ曲がり政策で健全ではない、冬眠国民大資産は気候変動戦争対策への投資策が正論、でなければ地球絶滅!!、

補記 3 : 米トランプ政権は強引な国内生産需要復興政策で鉄鋼などが生き返ったとの話で、株価も高値でこれまで過熱推移してきましたが、10/10 に N Y ダウが至上 3 番目の下げ幅、理由は F R B 高金利化嫌いと言われてますが、米国は過去の巨額 Q E 政策で実態泡経済で、**何時かには**大規模な調整局面があるはずで、問題はその時期で、米中間選挙狙いなのかも知れない。米保守体制にすればトランプ存在は目の上の大タンコブ、何とか除去したい強い思いが米裏地下政府(ナチス再生勢力=金権王の護衛装置)に働いている。下院が民主党多数派になると、現政権は思い通りの政策ができなくなり、一層の米混乱が継続する。フロリダを襲ったハリケンマイケルでトランプは現地視察に出向くそうだが、米国民の誰もが気候狂暴化事実を認識、他方で甘い経済も可愛い、何か国民人心大転機になる要因が必須、トランプは国民意向環境次第で動く。日本-米国民愚鈍=人スキャンダル議論を卒業、**(事件+理想)を大議論する国民**に急遽変貌しないと地獄が間もなく不可逆になる。**強い精神は理想を議論、平均的な精神は事件を議論、弱い精神は人を議論、.....ソクラテス。**

補記 4 : 極限圧力下で全物質は金属化する(物性物理学定理<予想>)、しかるに通常の震源深度(10km程度、面積 1 m^2 の石柱 10km の下の圧力を想像!!)圧力下では問題の極限圧力には遠いのだが、ここで肝心なのは地下震源層域は完全静止にはないはずだ。言いたい事は**圧力揺らぎ**がある。たとえば地下ではプレート移動圧力で頻繁に小地震は起きている。その P 波は縦波圧力波である。スパイク状の圧力波が一つ可能性としてあるのでは?! その圧力で岩石隙間が金属化で表面高濃度電子の重水核融合触媒空間になる。反応は量子論の確率であり、サイコロを何度も振れば役満になる可能性が起きる。